

ペット質問箱

犬は遠方からどう家に戻る？

「地磁気を利用」が有力

されています。犬の脳には磁気センサーと直感的な視覚ナビゲーション能力が備わっているようなのです。

帰巢行動には、やってきた道をにおいなどの記憶を頼りに戻る「トラッキング（追跡）」と、新しい道を開拓して戻る「スカウティング（偵察）」の2種類があります。犬は途中変更を含めて約4割がスカウティングで帰還するとされ、ほぼトラッキング法を取る人間とは明らかに異なります。

犬は往路で蓄積した方向にかかるエラーを修正するため、復路では一定距離を南北方向に沿って走りつつ、正しい行き先を割り出します。人間なら、コンパスと定規を手にも複雑な計算をしなければ不可能な行動です。

一方で猫の帰巢本能に詳しい学者は、猫には太陽の位置から時間を感知する体内時計があるとします。家から離れるほど体内時計と太陽の位置のずれが大きくなるのを利用し、方向を判断するというのです。また別の学者は、猫は視覚情報なしに家路をたどることができるとの実験結果を示し、地磁気への鋭い感受性を示唆しています。

これらの証拠に、進路を決めようとして

いる犬や猫に強力な磁石を取り付けると、帰巢行動が乱れるのだそうです。

（早馬 正人・県獣医師会員）

<月1回掲載します>

ペットに関する素朴な疑問や健康、飼い方についての質問をお寄せください。〒422-8670 静岡新聞社編集局「ペット質問箱」係へ。Eメール<seikatsuhoudou@shizuokaonline.com>や、右のQRコードで投稿フォームからも送信できます。全てにはお答えできず、直接回答もしかねますがご了承ください。



問 自宅から200*以上離れた場所に誤って連れて行かれた愛犬が、自力で戻ってきたというニュースを見ました。どうやって自宅を探すのでしょうか。

答 犬の驚くべき帰巢本能はよく知られますが、何を手がかりにしているのかは不明でした。しかし近年では、犬が排尿時に体の向きを南北の線に合わせる姿勢を取ることが報告され、地磁気の強さや方向を感知して帰巢している可能性が指摘